

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2024年 6月 5日
研究終了日	2024年10月26日 まで
研究の名称	当院における胃がん周術期の栄養・運動介入の取組みと短期成績－管理栄養士の立場から－
研究対象	多職種連携による栄養・運動介入体制が整った2023年5月以降に胃がん手術を受けた患者のうち、2023年11月末までに3回の栄養指導を実施できた症例
対象材料	診療記録
対象期間	2023年5月1日 ～ 2023年11月30日
研究の目的意義	胃がん周術期には、消化管通過障害や検査・絶食による食事量の減少、がんによる炎症や代謝亢進により体重減少をきたしやすい。また、患者の高齢化により、術前からフレイル・サルコペニアを併存した患者も多い。より良い状態で周術期を乗り切るには体重減少を最小限にすること、特に臨床アウトカムと相関が高い骨格筋の維持が重要である。当院における胃がん周術期の多職種連携による栄養・運動介入の取組みについて報告し、予定していた栄養介入を実施できた患者について、管理栄養士の立場から体重減少軽減への効果や影響する因子を考察する。
方法	栄養指導は、術前、退院前、術後の3回を基本とし、周術期を通じて必要栄養量の確保を目標に行う。尚、全例術後に栄養剤を提供する。運動指導には、医師と理学療法士で協働作成した「健やか運動手帳」を使用し、介入効果については、予定していた3回の栄養指導を実施できた患者の体重、栄養状態等のデータを検証する。
個人情報の取り扱い	個人情報院内で取り扱うが、匿名化等により外部には出さない。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 栄養管理部 井上 文子 TEL06－6843－0101